

こっこめ通信 11 2024

「秋らしい虫ってナニ？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

10月26日に開催予定だった八丈学講座「秋の虫を探そう」は、大雨の予報もあり中止となりました。お昼前には「土砂災害警戒情報」も発表されるほどの降水が続きました。地上を生活の場としている虫たちは、このような大雨に対してどのような対応をしているのか？気になります。

さて、今回は「ウスバキトンボのマーキング調査」「いっしょに作ろう！落ち葉のミノムシ兄弟」「島のミノムシ事情」についてのお話です。

ウスバキトンボのマーキング調査

海を渡るトンボは何種類かいますが、ウスバキトンボ (*Pantala flavescens*) は、長距離を移動し、ひたすら北上を繰り返し、冬になると渡った北の地で死滅してしまう謎の多いトンボです。

3月に南の風が吹くと、八丈島でもこのウスバキトンボが見られるようになってきます。島に辿り着くと、島の中で世代を交代し、さらに北を目指していきます(写真右上)。夏から秋には渡ってくる個体数が増え、池や海岸沿いの水溜まりには、腹部の幅が広い幼虫が沢山見られるようになります(写真右中)。

このウスバキトンボの謎を解明しようと、2022年の夏からウスバキトンボ全国マーキング調査が行われています。この調査は、NHKの「ダーウィンが来た！」と連動した調査にもなっているそうです。

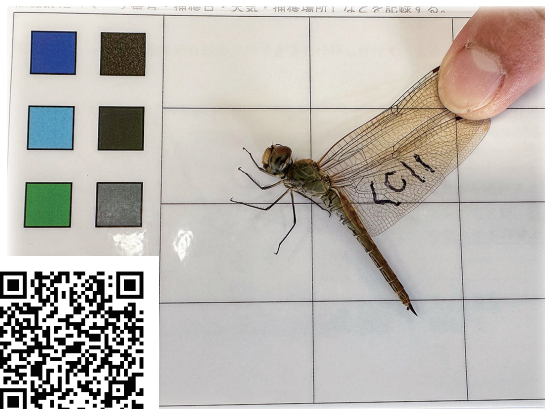
八丈ビジターセンターも今年の秋からこの調査に参加させてもらい、10月に41個体にマーキングをしています(写真右下)。

マーキング調査はマーキングをしたら終了ではなく、その先の再捕獲が重要になってきます。八丈島でマーキングした個体が他の地域で再捕獲、または他の地域でマーキングした個体を八丈島で再捕獲するのが目標です。事務局によれば、すでに今年のマーキング調査では再捕獲が確認されているようです。詳細はシーズン終了後に発表されると思います。

以前、旅をするチョウ「アサギマダラ」の八丈島でのマーキングや再捕獲に関する記事を、こっこめ通信 2009年12月号、2015年11月号、2021年11月号で紹介しました。

ウスバキトンボも、みんなの力でいろいろな謎が解明されると嬉しいですね。(H.T.)

ウスバキトンボ全国マーキング調査一般向けの情報は、右のQRコードからどうぞ。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

いっしょに作ろう！落ち葉のミノムシ兄弟

10月28日、「いっしょに作ろう！落ち葉のミノムシ兄弟」を開催しました。「いっしょに作ろう！」シリーズは、未就学のお子さんと保護者が簡単にできるクラフト行事として、年に数回実施しています。

今回は、園内の落葉と剪定枝、ソテツの実、ハチジョウスズタケを使ってミノムシの兄弟を作りました。

写真左のミノムシ1号（兄）は、パンチで中心に穴を空けた落葉400枚弱を用意し、その落葉に綴りヒモを通してもらいます。落葉が落ちないように一番下と落葉の途中にハチジョウスズタケも通します。顔の部分はソテツの実の中身をくり抜き、目玉をつけました。

写真右のミノムシ2号（弟）は、直径2cm長さ10cmの伐採枝の上部にヒートンを差し込んだものを用意し、まずその枝に目玉をつけます。ミノになる落葉は事前に両面テープを貼りつけておき、参加者に好きな色の落葉を選んで貼りつけてもらいました。最後にモールでマフラーを作り、麻紐を通して完成です。

穴にヒモを通す作業は楽しそうに取り組んでくれましたが、両面テープから剥離紙を剥がす作業は少し難しく、飽きてしまったようでした。(H.T.)



島のミノムシ事情

「ミノムシ（蓑虫）」って何者？ミノムシ自体は知っていても、どんな生きものなのか知らない人は多いかもしれません。ミノムシはミノガの仲間で、ガの幼虫が葉やコケを糸で綴って、ミノを作ります。オスは成虫になるとガの姿になりますが、メスはイモムシ型でミノから出てきません。

八丈島でも、何種類かのミノガ（ミノムシ）が記録されているので紹介します。(H.T.)

① オオミノガ (<i>Eumeta variegata</i>)	ミノの大きさは5cmくらいで、糸で厚く頑丈に作られています。夏から翌春まで見られ、5月から7月頃に羽化します。メスは羽化してもミノからは出ません。
② チャミノガ (<i>Eumeta minuscula</i>)	ミノの大きさは4cmくらいで、小枝や葉柄をミノ外側に貼りつけます。夏から初夏まで見られ、6月から7月頃に羽化します。メスは羽化してもミノからは出ません。
③ クロツヤミノガ (<i>Bambalina</i> sp.)	ミノの大きさは3cmくらいで、円筒形で下側に向かって細くなります。夏から翌春まで見られ、4月から7月頃に羽化します。メスは羽化してもミノからは出ません。
④ ヒモミノガの仲間 (<i>Psychidae</i> sp.)	まだよく分かっていない種で、紐状の細長いミノを作ります。植物公園のビロウにはたくさん付いています。



八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、3名の参加者+スタッフ2名で開催しました。蚊の襲撃に遭いながら、シダ植物14種類を含む68種類の植物を観察しました。

草刈りの行われる前で、イネ科やカヤツリグサ科の植物たちが背丈を伸ばしていました。数日後に草刈りが行われる予定のため、来月には観察できる種類が少し減ってしまうかもしれません。また、ビジターセンター前にはコツブタケがあり、棒で擦り、胞子が飛ぶ様子も観察しました。(H.T.)

八丈植物公園季節調査 2024 年 10 月 13 日 (日)、天気：晴れ、気温：24.4℃

調査者：杉浦、西喜、茂手木、 VC：沖山、高須

1	ヤブニッケイ	葉、実、ヤドリギ
2	タコノキ	気根の長さ 60cm、太さ 11.5cm、実
3	オオタニワタリ	最長丈 110.0cm (17.5cm 先端が切れている)、幅 16cm、新芽 1 枚、胞子あり
4	ニオイウツギ	実、葉
5	ニオイバンマツリ	葉
6	オオシマザクラ	新芽
7	アオツツラフジ	実
8	アオノクマタケラン	実
9	アキノノゲシ	蕾
10	アシタバ	花
11	イガガヤツリ	花
12	イタビカズラ	実
13	イヌビワ	実
14	イヌホオズキ	花
15	ウスベニニガナ	花
16	ウリクサ	花
17	エダウチチヂミザサ	花
18	オオバコ	花・実
19	オオバヤシャブシ	実
20	オオムラサキシキブ	実
21	オニタビラコ	花
22	オヒシバ	花
23	キツネノマゴ	花
24	キバナシュクシャ	実
25	コミカンソウ	実
26	コメヒシバ	実
27	シマクサギ	花
28	ストレッチア	花
29	セイタカアワダチソウ	花
30	センダン	実
31	センダングサ	花
32	タチスズメノヒエ	花
33	タラノキ	花
34	チチコグサ	実
35	チヂミザサ	花
36	ツククサ	花
37	ツルソバ	花
38	テリハノブドウ	実
39	トベラ	実
40	ナガエコミカンソウ	実
41	ニクイロシュクシャ	実
42	ハイビスカス	花
43	ハイメドハギ	花
44	ハチジョウキブシ	花芽
45	ヒナギキョウ	花
46	ヒメユズリハ	実
47	ブーゲンビリア	花
48	フウトウカズラ	実
49	ブラシノキ	実
50	ヘクソカズラ	実
51	ホルトノキ	実
52	ムクゲ	花終わり
53	モンステラ	花・実
54	ヤブツバキ	蕾
シダ植物		
1	イシカグマ	
2	オオイタチシダ	胞子囊
3	カニクサ	
4	タチクラマゴケ	
5	タチシノブ	
6	タマシダ	胞子囊
7	ナチシケシダ	胞子囊
8	ノキシノブ	胞子囊
9	ハチジョウカナワラビ	
10	ハチジョウシダ	
11	ヒトツバ	胞子囊
12	ホシダ	胞子囊
13	マメヅタ	
14	ワラビ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、前ページ行事で真っ赤な落葉を使用した「ホルトノキ」にスポットを当ててみたいと思います。



ホルトノキ *Elaeocarpus zollingeri* var. *zollingeri*

ホルトノキ科ホルトノキ属。常緑高木。
一年中赤い葉をつけているので見分けはつきやすいです。7月上旬に白い花を咲かせ、冬に実が熟します。島では「チギ」と呼び、子供の時に実を食べたという話も聞きます。
以前は学名を、*Elaeocarpus sylvestris* var. *ellipticus* と表記していました。

2024
11ハチビジターセンター
プログラムカレンダー日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					● 1	2 ガイドウォーク
					05:12 16:26 10:48 23:00	05:46 16:48 11:17 23:28
3 ガイドウォーク	4 ガイドウォーク	5	6	立冬 7	8	☾ 9 ガイドウォーク
06:21 17:11 11:45 23:58	06:57 17:34 12:11	07:36 17:58 00:30 12:38	08:20 18:23 01:05 13:07	09:17 18:53 01:46 13:45	10:37 19:34 02:37 14:48	12:10 21:04 03:44 17:13
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	14	15	☉ 16 ガイドウォーク
13:14 23:54 05:14 19:16	13:55 20:06 06:45	01:41 14:28 07:56 20:45	02:55 14:59 08:51 21:23	03:54 15:28 09:38 22:01	04:48 15:57 10:19 22:39	05:38 16:27 10:58 23:19
17 ガイドウォーク	18	19	20	21	小雪 22	☾ 23 ガイドウォーク 八文学講座「大人クラフト 秋のスワッグを作ろう」
06:27 16:57 11:33 23:59	07:15 17:29 12:07	08:03 18:01 00:40 12:41	08:52 18:35 01:22 13:17	09:45 19:13 02:05 14:03	10:43 20:02 02:52 15:15	11:44 21:39 03:46 17:41
24 ガイドウォーク 東京文化財ウィーク 企画事業「ヘゴ北限 自生地と不動の滝」	25	26	27	28	29	30 ガイドウォーク
12:35 19:20 04:53	00:14 13:15 06:13 20:05	01:56 13:49 07:25 20:38	03:01 14:19 08:22 21:08	03:50 14:49 09:09 21:38	04:31 15:18 09:49 22:09	05:09 15:46 10:25 22:40

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11 / 10 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名八文学講座「大人クラフト
秋のスワッグを作ろう」毎月行っている八文学講座。エノコログサやススキなどを使って秋を感じる壁飾りを作りましょう！
11 / 23 (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名東京文化財ウィーク企画事業
「ヘゴ北限自生地と不動の滝」国天然記念物ヘゴ北限自生地とその先の不動の滝、近藤富蔵が彫った不動明王石像を訪ねます。
11 / 24 (13:30 ~ 約2時間)
中学生以上 三根大川浄水場上集合・解散 参加費：50円 定員：15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日・祝日及び休日、(10:30 ~ 約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち
11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16:00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.11.1 第282号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

7月8月は雨が少なく、9月10月は台風が接近していないのに月の降水量は9月が613mm、10月が561mmと多めでした。8月号で「八丈島では雨降って欲しいです」とお願いしてしまったせいかもしれません。今後は、ほどほどにお願いしたいです。(H.T.)